

事務事業名	布団乾燥サービス事業		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	法令根拠			
政策名	総合計画体系	所属部門	住民福祉部	保健福祉課	福祉係(グループ)		
施策名		課長名	江口久子	担当者名	西田昌樹 (内558)		
基本事業名		予算科目	会計	款	項	目	事業
全庁共通課題	<input type="checkbox"/> 協働のまちづくり		<input type="checkbox"/> 男女共同参画	<input type="checkbox"/> 食のまちづくり	環境	次世代	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	全体計画の投入量を記入 ↳ ( 開始年度 年度 ~ ) ↳ ( 年度 ~ 年度 )		

事業概要 在宅の寝たきり高齢者等に対して3ヶ月に1回程度、特殊車輛で訪問し布団類を乾燥消毒する事業。	全体計画	(単位:千円)
	投入量	特定財源
		一般財源
		その他
		事業費計(A)
		正規職員従事人数
人件費	人件費計(B)	
	総コスト(A)+(B)	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と効果  
手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)

16年度実績  
委託事業者である社協と委託契約をし、事業実績の請求に基づいて委託料を支払う。住民製課税世帯は利用者負担もあることから課税調査を実施する。道補助事業のため道に対して補助申請などを行なう。

17年度計画  
平成16年度と同様であるが、道補助が廃止のため補助申請などは行わない。

対象(誰、何を対象にしているのか)\*人や自然資源等  
おおむね65歳以上の独居高齢者、高齢者のみの世帯、身体障害者の方がいる世帯で布団乾燥を必要とする世帯の方。

意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)  
保健衛生に配慮した生活の支援と負担の軽減を図る。

結果(どんな結果に結び付けるのか)  
自立し、地域の中で生き生きと在宅生活を継続する

活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 委託料	千円
イ	
ウ	
対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 該当者数	人
イ	
ウ	
成果指標(対象における意図された対象の程度)数字は記入しない	
名称	単位
ア 利用者数	人
イ 利用延べ回数	回
ウ	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 元気に活動する高齢者	人
イ	
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移

事業費	単位	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	年度
		(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(目標)	(目標)	(最終目標)
特定財源	千円	251	89	255				
一般財源	千円	84	29	85	181			
その他	千円							
事業費計(A)	千円	335	118	340	181	0	0	0
正規職員従事人数	人	1	1	1	1			
人件費	年間			0.0047				
人件費計(B)	千円	0	0	43	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	335	118	383	181	0	0	0
活動指標	ア 千円	335	118	340				
	イ							
	ウ							
対象指標	ア 人	36	25	43				
	イ							
	ウ							
成果指標	ア 人	36	25	43				
	イ 回	73	41	110				
	ウ							
上位成果指標	ア 人							
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・町民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?  
保健衛生に配慮した生活の支援と負担の軽減を図るため。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?  
特に変化なし。

この事務事業に対して関係者(町民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?  
特になし。

<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>			
<b>目的 妥当性 評価</b>	政策体系との結びつき  この事務事業の目的は町の政策体系に結びつくか？意図することが上位施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結びつかない [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 結びつく [理由]	在宅福祉サービスではあるものの、政策とは結びつきが非常に弱い。
	公共関与の妥当性  なぜこの事業を町が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input checked="" type="checkbox"/> 手が引ける [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 手が引けない [理由]	布団の乾燥は、衛生的な生活には必要と考えるが、天日での乾燥でもいいものとする。高齢・障害によりその動作が困難な場合には有料でヘルパー、たすけ愛、就労センター等で実施できるものとするため。
	対象・意図の拡大又は縮小余地  対象と意図の拡大・縮小の余地はないか？(拡大による成果向上、限定・縮小による公的関与の適正化やコスト削減はできないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 適切である [理由]	特殊車輛を使用しているため、車輛維持費も含め委託している。拡大することにより利用者が増大すれば費用対効果もあるものとする。縮小することで車輛維持費分の効果は出ないものとする。
	成果の向上余地  成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある [原因] 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 余地がない [理由]	現行の機械による乾燥が天日乾燥で代替できるのであれば、ヘルパー等の利用で代替できるものとする。有料ではあってもよりたくさんの方が利用できるものとする。
	廃止・休止の成果への影響  事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ	天日乾燥を行えば特に問題は生じないと考える。
	類似事業との統廃合余地  目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない [理由] <input type="checkbox"/> 他に手段がない [理由]	天日乾燥であればヘルパー、たすけ愛、就労センター等に直接依頼。
全庁共通課題の貢献  全庁共通課題の解決に対してこの事業はどんな貢献をしましたか？	<input type="checkbox"/> 貢献した 【具体的に】 <input type="checkbox"/> 貢献していない 【全庁共通課題にもかかわらず貢献していない場合はその理由】		
<b>有効性 評価</b>	事業費の削減余地  成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 【具体的な影響】 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ	金銭的な負担の増。問題解決は自分で天日乾燥する。
	人件費(業務所要時間)の削減余地  成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 可能 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 [理由]	町が行なう場合では、現行が最小限と考える。
<b>効率性 評価</b>	受益者負担の適正化余地  受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正化余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 適正化余地がない [理由]	住民税課税世帯のみ有償となっているが、現行方法を継続するのであれば一律利用者負担制の導入。

<b>3 改革・改善方向の部(PLAN)</b>																		
(1)今後の事業の方向性(改革改善案) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(3)改革・改善による期待成果																	
ほとんどの高齢者世帯は無償の対象となっている。このまま町が関与するのであれば所得制限の見直しを図るべき。	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持低下		×	×
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上																	
	維持低下		×	×														
(2)改革, 改善を実現する上で解決すべき課題は何ですか？それをどう解決していきますか？  応分負担はどのくらいが適切であるか、対象者の世帯状況、所得状況などを把握し実費負担を念頭に検討する。																		